

平成23年5月27日
海事局総務課国際企画調整室
海事局船舶産業課

オスロマリタイムサミット2011の開催及び 日本ノルウェー海事分野協力覚書の締結について

ノル SHIPPING（注）世界海事展の開催（5月24日から27日まで）に合わせ、ノルウェー王国主催の「マリタイムサミット2011」が5月24日オスロにて開催され、我が国から大口国土交通審議官が出席し、共同声明が出されました。

また同日、当省とノルウェー王国貿易産業省との間で、「海事技術・産業分野における協力覚書」が締結されました。詳細は以下のとおりです。

1. オスロマリタイムサミット2011

ノルウェー王国の招聘により参集した主要海運国の閣僚級が、環境問題、北極海航路の発展に向けた課題等について意見交換の上、これらの主要海運国が共通して認識する課題及び協力関係について、次の①～④を柱とする共同声明を発表しました。

- ① 海事産業が、環境に優しい技術を発展させ、かつ採用し、持続可能な経済成長及びビジネスモデルの重要な役割を担っている。
- ② 国際海事機関(IMO)や国際労働機関(IL0)で採択された条約の未締結国に早期締結を奨励する。
- ③ 船舶の運航が技術的に高度化されるため、船員にさらにハイレベルな能力と技術が要求される。
- ④ 海洋生態系に配慮した極地域における船舶の運航に関し、強制力を持つ国際ルールの検討を促す。

（参加国は、次の12カ国：デンマーク、ドイツ、インド、日本、韓国、ロシア、シンガポール、米国、イギリス、オランダ、ノルウェー、欧州連合）

2. 「海事技術・産業分野における協力覚書」の締結（リンド貿易産業副大臣及び大口国土交通審議官が署名）

上記サミットと同日、「日本ノルウェー海事分野協力覚書」が締結されました。

本覚書は、具体的には洋上風力発電、液化天然ガス燃料船、シップリサイクル等を中心に、両国の海事技術・産業分野の緊密な協力と情報交換を促進しようとするものです。

翌5月25日には上記覚書に基づく、「日本ノルウェー海事技術・産業会議」が開催され、両国から官民の実務者が出席し、両国の協力可能性に関する検討が行われました。

（注）ノル SHIPPING

ノルウェー・オスロにて2年毎に開催される世界の主要海事展の一つで、これまでに22回開催されました。

【問い合わせ先】

国土交通省海事局船舶産業課 吉田、齋藤

(代表) 03-5253-8111 (内線) 43-653、43-644

(直通) 03-5253-8634 (FAX) 03-5253-1644

国土交通省海事局総務課 国際企画調整室 恵美

(代表) 03-5253-8111 (内線) 45-612

(直通) 03-5253-8656 (FAX) 03-5253-1642



オスロマリタイムサミット 2011 参加者によるディスカッション



海事技術・産業分野における協力覚書の署名

(写真左:大口国土交通審議官、写真右:リンド貿易産業副大臣)